Form No. 3366-757 Rev C

フォームマーカー・キット

Multi-Pro® 1200, 1250 および 5000 シリーズ ターフスプレーヤ並びに Workman® 200 スプレーシステム用

モデル番号41236—シリアル番号 311000001 以上

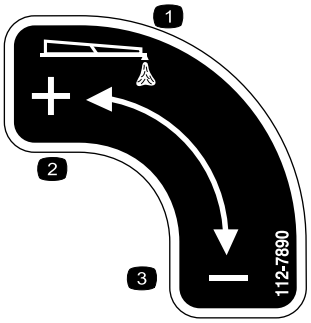
取り付け要領

安全について

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

安全ラベルと指示ラベル

以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



112-7890

1. 発泡量
2. 上げる
3. 下げる

© 2012—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は：www.Toro.com.

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA
禁無断転載

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
2	フォーム･マーカーのタンク タンクのキャップ, 黒	1 1	フォーム・マーカーのタンクを組み立てます。
3	ねじ（M6） ワッシャ（M6）	4 4	ブラケットにタンクを組み付けます。
4	キャリッジ・ボルト, 1200 シリーズ (3/8 x 1-1/4 インチ） ロックナット, 1200 シリーズとワークマン 200 (3/8 インチ） キャリッジボルト, 5000 シリーズ（5/16 x 1-1/4 インチ） ロックナット, 5000 シリーズ (5/16 インチ） ボルト, ワークマン 200 (3/8 x 1-1/4 インチ）	4 4 4 4 4	タンク＆ブラケットを取り付けます。
5	泡ホース 結束バンド（プラスチック製）	1 8	泡ホースを取り付けます。
6	ホース･クランプ（青） ホース･クランプ（白） ブラケット スペーサ 固定ねじ 取り付けロッド 泡用ノズル・アセンブリ	2 2 4 4 4 2 2	泡用ノズルを取り付けます。
7	制御バルブ, キャップに取り付け 制御バルブ, ダッシュボードに取り付け デカル, 112-7890	1 1 1	泡コントロール・バルブと接続ホースを取り付けます。
8	ロッカー･スイッチ ヒューズ（15 A）	2 1	スイッチとヒューズを取り付けます。

フォーム･マーカーキットを取り付ける機械によって取付け手順が一部異なりますので、該当する個所については個別に手順を示します。各手順に進む前に、機種別の見出しがないか確認してください。

フォーム･マーカーキットは、取り付け先の車両ごとに専用の取り付けブラケットが必要になります。キットの取り付け作業を始める前に、代理店に連絡して必要なブラケットを確認、入手してください。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に停車し、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させる。
2. ブームを散布位置にセットする。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。

2

フォーム･マーカーのタンクを組み立てる

この作業に必要なパーツ

1	フォーム･マーカーのタンク
1	タンクのキャップ, 黒

手順

1. 付属部品の中から、フォーム･マーカーのタンクと、フィルタ・チューブ付きのキャップを探し出す。
2. タンクの中を完全にきれいにする。
3. キャップを、タンク・アセンブリに取り付ける。
   A. フィルタ・チューブは、タンクの大きい、ねじ山つきの開口部に入れる。
   B. V字形のストップは、ねじ山付きの開口部を通れる程度に押し縮めて中に入れる。
   C. ねじ山付きの開口部にタンクのキャップをはめる。

3

ブラケットにタンクを組み付ける

この作業に必要なパーツ

4	ねじ(M6)
4	ワッシャ(M6)

1200 シリーズ散布車にタンク･アセンブリを取り付ける場合

フォーム・タンク・アセンブリを 図 1 に示すように取り付けブラケットにセットする。

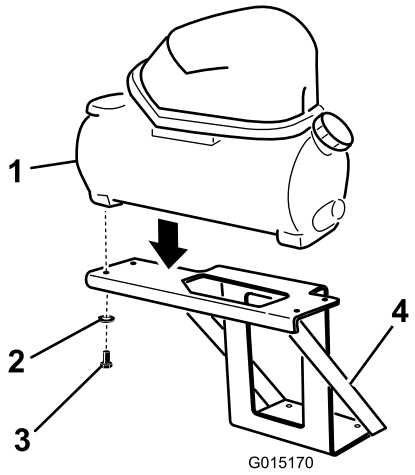


図 1

1. フォーム･マーカーのタンク
2. ワッシャ
3. ねじ(M6)
4. 取り付けブラケット

取り付けブラケットの取り付け台の下から、ねじ 4 本 (M6) とワッシャ 4 枚 (M6) をタンク・アセンブリの下側に通して、アセンブリを固定する。全部のねじを本締めしてタンクを固定する。各ねじを 45-61 in-lb (5-7 Nm (0.5～0.7 kg.m) にトルク締めする。

5000 シリーズ散布車にタンク･アセンブリを取り付ける場合

1. フォーム・タンク・アセンブリを 図 2 に示すように取り付けブラケットにセットする。

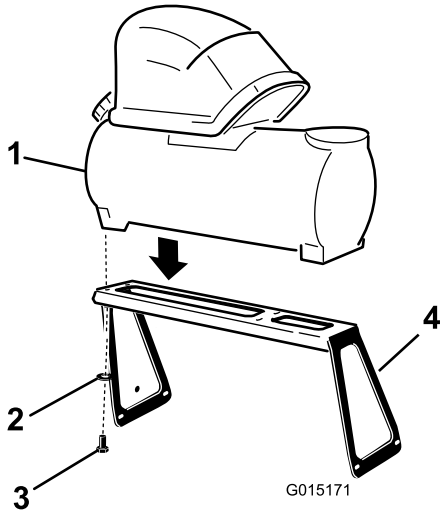


図 2

1. フォーム･マーカーのタンク
2. ワッシャ
3. ねじ(M6)
4. 取り付けブラケット

2. 取り付けブラケットの取り付け台の下から、ねじ 4 本 (M6) とワッシャ 4 枚 (M6) をタンク・アセンブリの下側に通して、アセンブリを固定する。全部のねじを本締めしてタン

クを固定する。各ねじを 45-61 in-lb（5-7 Nm（0.5～0.7 kg.m）にトルク締めする。

ワークマン用 200 ガロン散布システムにタンク･アセンブリを取り付ける場合

1. フォーム・タンク・アセンブリを 図 3 に示すように取り付けブラケットにセットする。

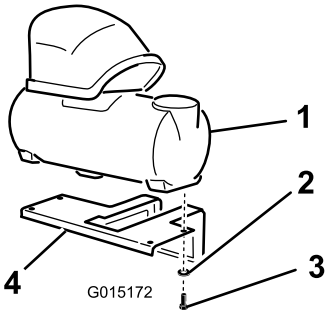


図 3

1. フォーム･マーカーのタンク
2. ワッシャ
3. ねじ(M6)
4. 取り付けブラケット

2. 取り付けブラケットの取り付け台の下から、ねじ 4 本（M6）とワッシャ 4 枚（M6）をタンク・アセンブリの下側に通して、アセンブリを固定する。全部のねじを本締めしてタンクを固定する。各ねじを 45-61 in-lb（5-7 Nm（0.5～0.7 kg.m）にトルク締めする。

4

スプレーヤにタンク＆ブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	キャリッジ･ボルト, 1200 シリーズ (3/8 x 1-1/4 インチ)
4	ロックナット, 1200 シリーズとワークマン 200 (3/8 インチ)
4	キャリッジボルト, 5000 シリーズ (5/16 x 1-1/4 インチ)
4	ロックナット, 5000 シリーズ (5/16 インチ)
4	ボルト, ワークマン 200 (3/8 x 1-1/4 インチ)

Multi-Pro® 1200 シリーズへのタンク＆ブラケットの取り付け

バッテリー・ボックスの上の取り付けブラケットにタンク＆ブラケットを取り付ける；キャリッジ・ボルト（3/8 x 1-1/4 インチ）（4本）とロックナット（3/8 インチ）（4本）を使用する（図 4）。

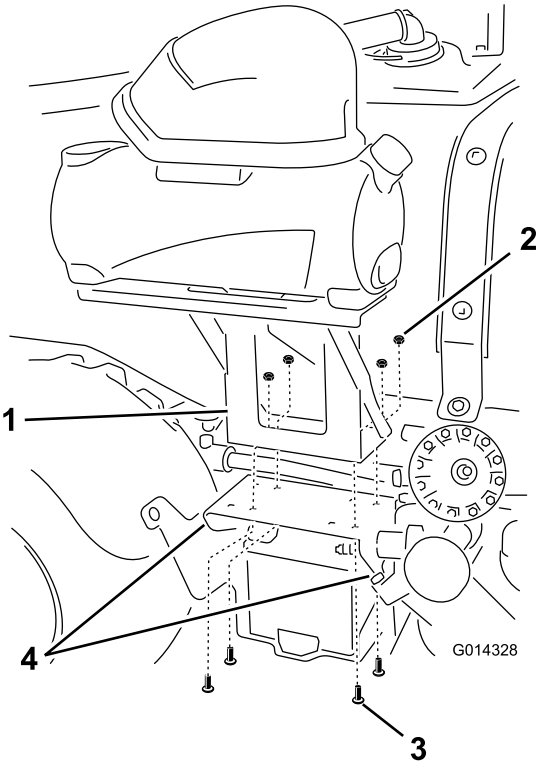


図 4

1. ブラケット(2), 1200 シリーズ
2. ロックナット (3/8 インチ) (4)
3. キャリッジ･ボルト (3/8 x 1-1/4 インチ) (4)
4. ブラケットをスプレーヤのフェンダ･サポートとフレーム･タブに取り付けるための金具類

Multi-Pro® 5000 シリーズへのタンク＆ブラケットの取り付け

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。
2. 右後ろフェンダで、このフェンダの前後にあるボルト4本をゆるめる。
3. 右後ろのフェンダにブラケットを取り付ける；キャリッジボルト（5/16 1-1/4 インチ）4本とロックナット（5/16 インチ）（4個）を 図 5のように使用する。

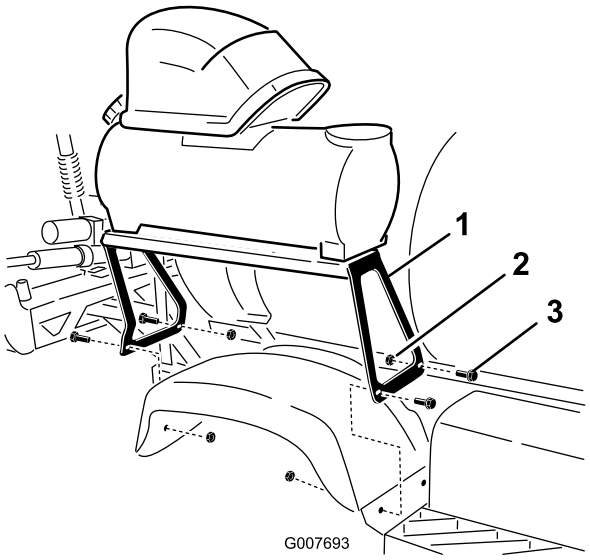


図 5

1. 取り付けブラケット
2. ロックナット (5/16 インチ)
3. キャリッジボルト (5/16 x 1-1/4 インチ)

Workman® 200 スプレーヤ・システムへのタンク＆ブラケットの取り付け

1. 運転席の後ろにある、タンクのスキッドの左前ハンドルを探し出す。
2. タンクのスキッドの左側から左ハンドルと取付金具を外す。
3. 付属部品のボルト (3/8 x 1-1/4 インチ) (2本)、ワッシャ (3/8 インチ) (2枚)、フランジ・ナット (3/8 インチ) (2個)、および先ほど外した左ハンドルとその取り付け金具を利用して、ブラケットをフレームに取り付ける (図 6)。

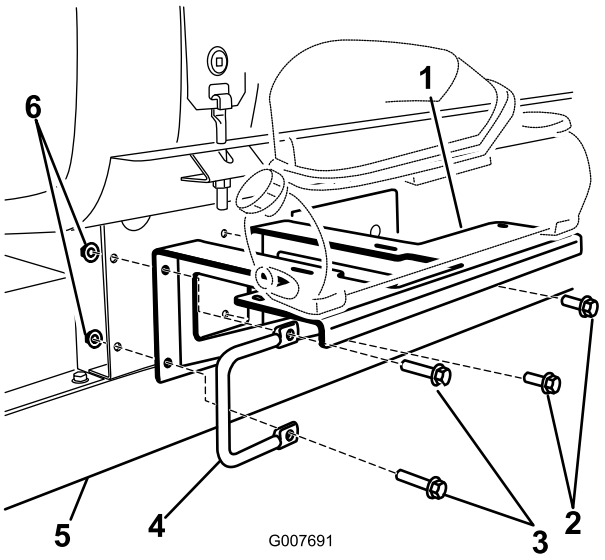


図 6

1. ブラケット, ワークマン 200
2. ボルト (3/8 x 1 インチ), 既存のもの
3. ボルト (3/8 x 1-1/4 インチ), 付属部品
4. ハンドル
5. ワークマンのフレーム
6. ロックナット (3/8 インチ)

5

泡ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	泡ホース
8	結束バンド (プラスチック製)

泡ホースの切断長さ

	1200 シリーズ	5000 シリーズ	ワークマン 200
右ブーム用泡ホース	488 cm	427 cm	549 cm
左ブーム用泡ホース	549 cm	488 cm	488 cm
泡密度コントロール・ホース	—	488 cm	—
タンク・ループへのコンプレッサ	92 cm	92 cm (透明チューブのみを使用)	92 cm

1. 該当する長さにホースを切り取る。残ったホースは脇にのけておく。
2. 切り取った各ホースの両端部の黒い外皮を長さ 75-100 mm 程度剥き取り、中の青と透明のチューブを露出させる。

泡ホースをブームに取り付ける

1. 泡ホースをブームに取り付けます。

   注 短いホースはブラケット側のブームに取り付け、長いホースはブラケットと反対側のブームに取り付ける。

   A. 右側ブームで、上サポート・ポールに沿って泡ホースを取り付ける（図 7）。

   重要 間違って反対側に取り付けると、ブームを X 字に閉じたとき（移動走行時）に、ホースがつぶれてしまうので注意してください。

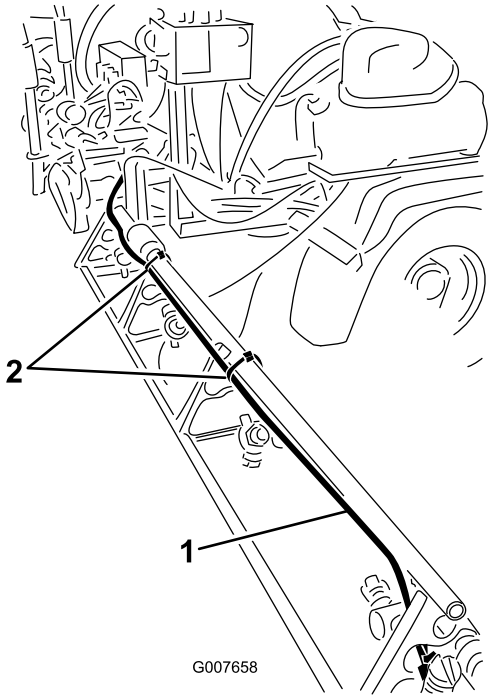


図 7
図は5000 シリーズ

1. 泡ホース, 右ブーム
2. 結束バンド（プラスチック製タイ）

   B. ホースの端部を、上サポート・ポールの端にそろえる。ブレースについている穴とプラスチック製結束バンドを利用して、ホースをブレースに縛り付ける（図 8）。

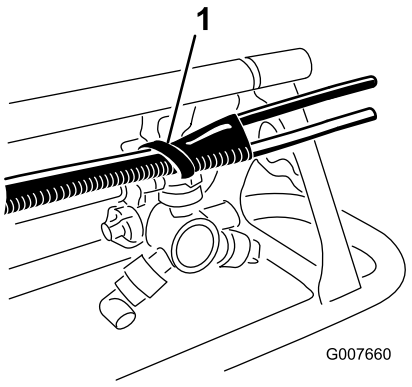


図 8

1. プラスチック製タイ

   C. 既存のブーム・ホースに沿って泡ホースを配置する。図 9 に示す位置で、プラスチック・タイでホースをブレースに固定する。

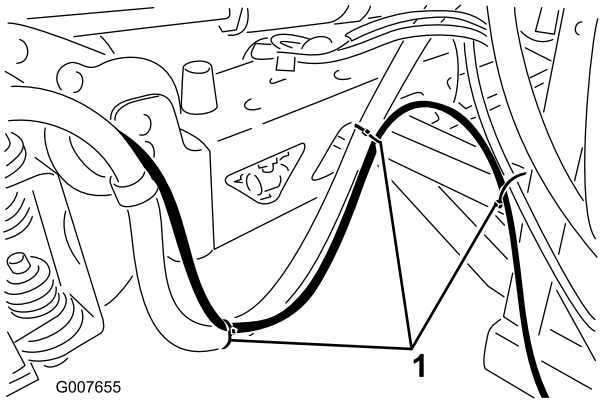


図 9

1. 結束バンド（プラスチック製タイ）

   D. 左側ブームでも同じ作業を行うが、こちらでは、上サポート・ポールの前川に沿って泡ホースを取り付ける。

   重要 間違って反対側に取り付けると、ブームを X 字に閉じたとき（移動走行時）に、ホースがつぶれてしまうので注意してください。

2. 左右のブームからの泡ホース 2 本を車体前部へ引き込み、取り付けブラケットへと導く。
3. 途中、プラスチック・タイを使って、既存のワイヤ・ハーネスまたはブーム・ホースに、泡ホースを固定する。

泡密度コントロール・ホースの配置（5000 シリーズ・スプレーヤのみ）

泡密度コントロール・ノブは 5000 シリーズのキャブにのみ装備されています；コントロール用のホースをキャブまで引き込んで、コント

ロール・バルブに接続できるようにしておきます。

1. 長さ 488 cm の泡ホース（ダッシュボード上のコントロール・バルブに接続用）を探し出す。
2. このホースを、フォーム・マーカー・ブラケットから車体の前に向かって、既存の配線に沿って、液剤タンクの下から燃料タンクの背後を通し、シート・ボックスへと導く（図 10）。

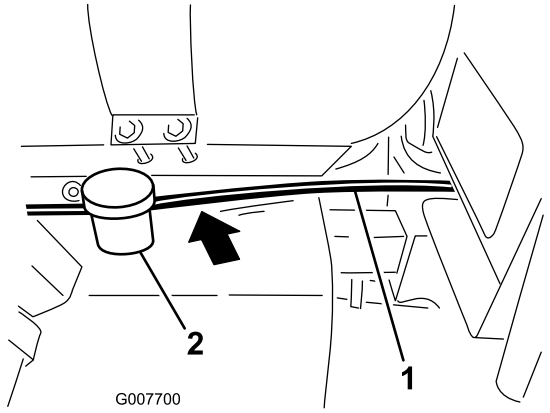


図 10

1. 泡ホース
2. 燃料タンク

3. 運転席を倒し、ホースをフロア・ボードの下からさらに車体前部の開口部へと導く。
4. そこからホースの向きを上に変え、ダッシュボードの右側の背面へ導く（図 11）。

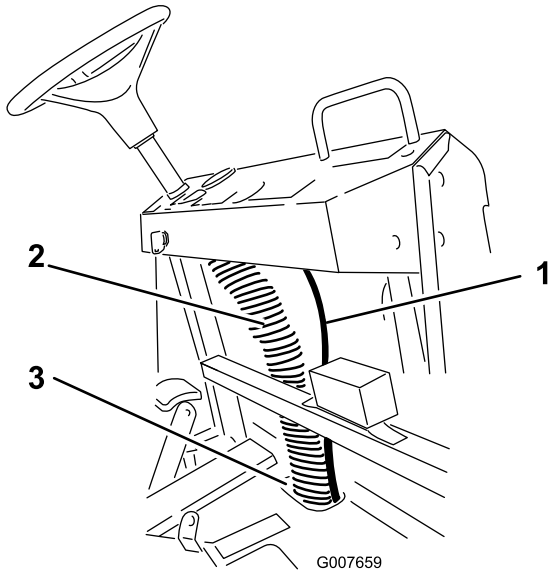


図 11

1. 泡ホース
2. 既存の配線の束
3. 車体前部の開口部

5. 既存の配線の束に、ホースを固定する（図 11）。

6

泡用ノズルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	ホース･クランプ（青）
2	ホース･クランプ（白）
4	ブラケット
4	スペーサ
4	固定ねじ
2	取り付けロッド
2	泡用ノズル･アセンブリ

手順

1. 露出させた泡チューブに、プラスチック製のチューブ・クランプを取り付ける。青いチューブ（液用）には青いクランプ、透明チューブ（空気用）には白いクランプを使用する（図 12）。

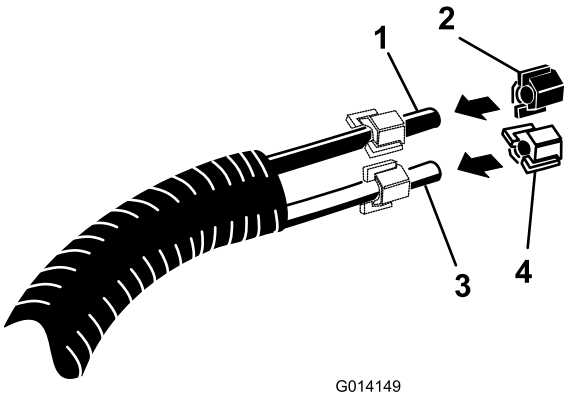


図 12

1. 青いチューブ
2. 青いチューブ･クランプ
3. 透明チューブ
4. 白いチューブ･クランプ

2. 泡用ノズル取り付けブラケットとスペーサを探し出す。最初のブラケットは、上ブーム・サポート・ポールの端から 7.5-10 cm のところに取り付ける。ブラケットとスペーサを （図 13）に示すように組み付ける。

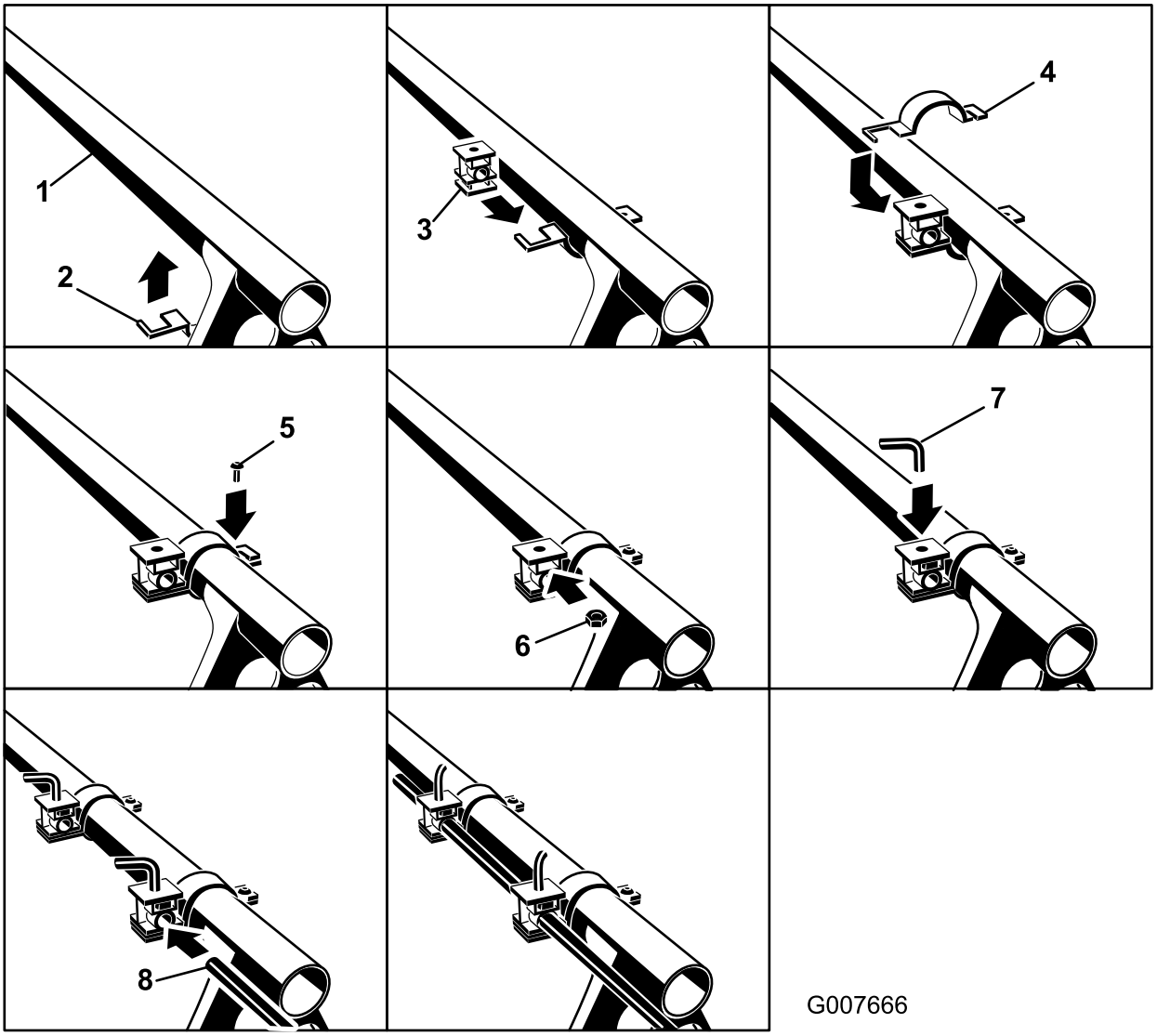


図 13

1. 上ブーム・サポート・ポール
2. ブラケット用クランプ・ハーフ, 下半分
3. スペーサ, 向きに注意
4. ブラケット用クランプ・ハーフ, 上半分
5. ねじ, クランプ用
6. ナット, スペーサ用
7. 固定ネジ
8. 取り付けロッド

3. 二つ目のブラケット・アセンブリを、最初のブラケットから 7.5-10 cm の位置に取り付ける。
4. 各スペーサの上穴に固定ねじを取り付ける。
5. スペーサの穴に取り付けロッドを入れる；スプラインの付いている方が外側になるように取り付ける。固定ねじを使ってロッドを適当な位置に固定する。

6. 付属部品の中から泡用ノズルを探し出す。取り付けロッドにノズルをセットする（図 14）。

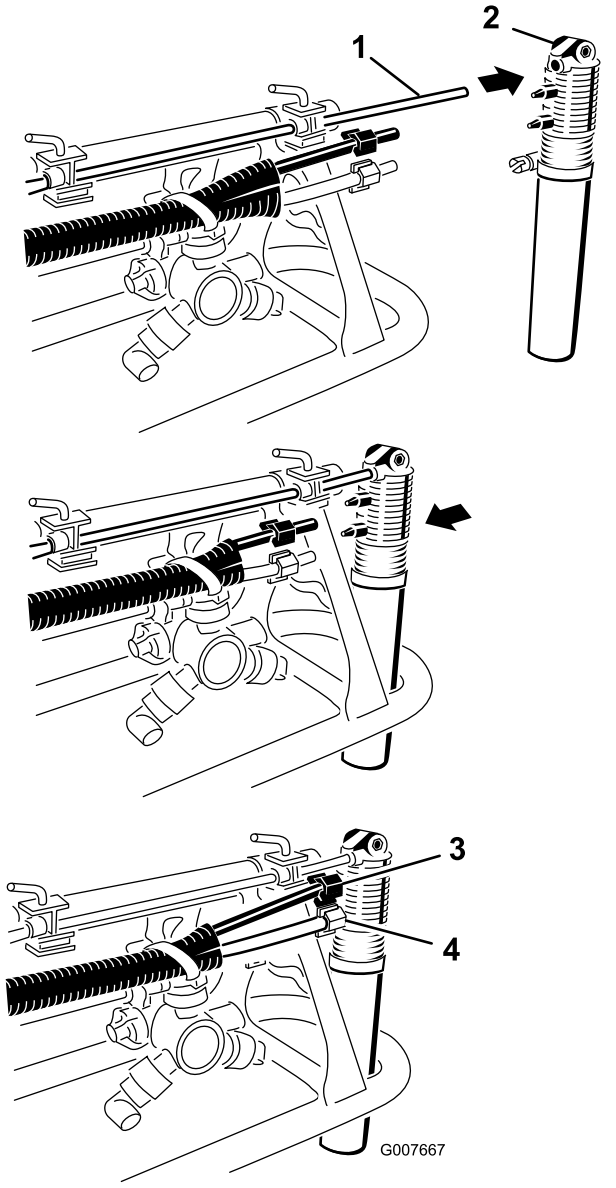


図 14

1. 取り付けロッド, スプライン側端部
2. 泡用ノズル
3. 青いチューブとクランプ
4. 透明チューブと白いクランプ

7. 青いチューブを上側のバーブに、透明チューブを下側のバーブに取り付ける。
8. 先ほど取り付けたクランプを使って、各ホースを固定する。
9. 反対側のブームでも同じ作業を行う。

   注 両方のマウントを、上サポート・ポールの後ろ側に取り付ける。

7

泡コントロール・バルブと接続ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	制御バルブ, キャップに取り付け
1	制御バルブ, ダッシュボードに取り付け
1	デカル, 112-7890

マルチプロ 1200 シリーズ・ターフ・スプレーヤおよびワークマン 200 スプレーヤ・システムへの泡コントロール・バルブの取り付け

1. フォーム・マーカー・アセンブリの端部についている黒いキャップを探し出す。
2. この黒いキャップに、92 cm のループバック・ホースとキャップ用制御バルブを取り付ける（図 15）。

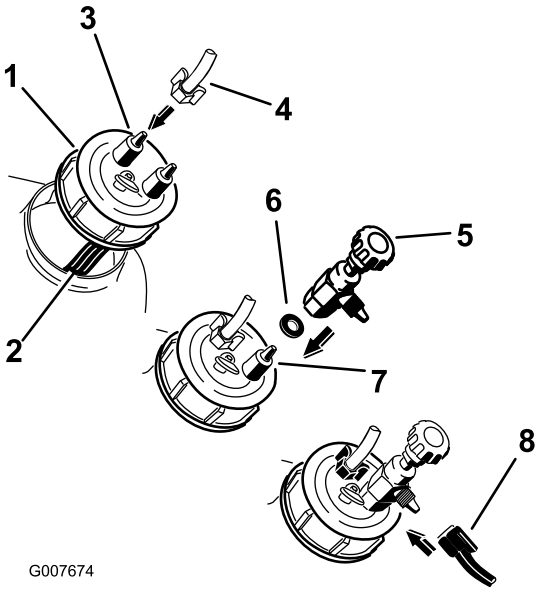


図 15

1. 黒いキャップ, タンク・アセンブリの端
2. フィルタ・チューブ, 青（タンクの中）
3. バーブ, フィルタ・チューブへ接続しない
4. 透明チューブと白いクランプ
5. キャップ搭載の制御バルブ
6. ワッシャ
7. バーブ, フィルタ・チューブへ接続する
8. 青いチューブとクランプ

A. 黒いタンク・キャップを外し、青いフィルタ・チューブが見える程度に持ち上げる。

B. タンクのキャップのホース・バーブから白いチューブ・クランプ（タンク内部の青いフィルタ・チューブに **接続されていない** 方）を外す。

C. 透明チューブをホース・バーブに取り付け、この白いクランプを透明チューブの上にセットして透明チューブを固定する。

D. 付属部品の中からキャップ用制御ノズルを探し出す。

注 このバルブは黒色で、ワッシャが 1 枚ついています。

E. タンクのキャップのホース・バーブから青いチューブ・クランプ（タンク内部の青いフィルタ・チューブに **接続されている** 方）を外す。

F. ワッシャを取り付け、キャップ用の制御バルブをホース・バーブに取り付ける。

G. 青いチューブをバルブ側面のバーブに取り付け、青いクランプを青いチューブの上にセットして青いチューブを固定する。

マルチプロ 1200 シリーズ・ターフ・スプレーヤおよびワークマン 200 スプレーヤ・システムへのホースの取り付け

1. フォーム・マーカー・タンク・アセンブリからの電気プラグを、ブラケット部にあるワイヤ・ハーネスの開いているプラグに接続する。
2. 以下に説明する手順で、ブームから来ているフォーム・マーカー・ホースを取り付ける。
   A. 付属部品の中から青いクランプ（1個）と白いクランプ（1個）を探し出す。
   B. 先ほど黒いタンク・キャップに取り付けた 92 cm のループバック・ホースから出ている青色と白色のチューブに、それぞれの色のクランプを取り付ける。
   C. この青色チューブと透明チューブを、コンプレッサのそれぞれの上バーブに接続する（図 16）。

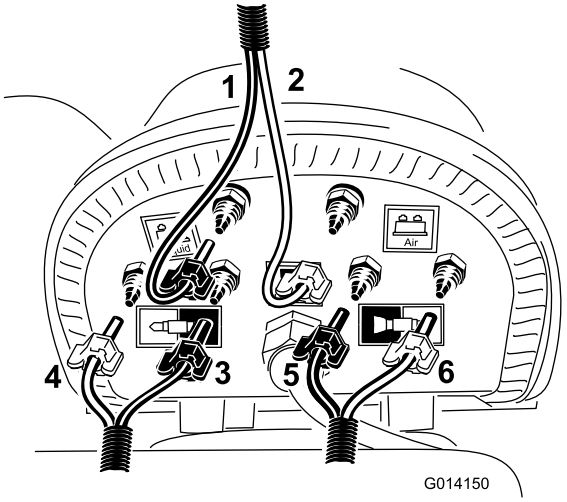


図 16

1. 青い（液用）チューブと青いクランプ, 92 cm ループバック・ホース
2. 透明（空気用）チューブと白色クランプ, 92 cm ループバック・ホース
3. 右ブーム, 青色チューブと青色クランプ
4. 右ブーム, 透明チューブと透明クランプ
5. 左ブーム, 青色チューブと青色クランプ
6. 左ブーム, 透明チューブと透明クランプ

   D. 付属部品の中から青いクランプ（2個）と白いクランプ（2個）を探し出す。
   E. 先ほどスプレー・ブームに取り付けた泡ホースからきているそれぞれのチューブに、同色のクランプを取り付ける。
   F. 左ブームに取り付けた泡ホースに、図 16 のように青と白のチューブを取り付ける。
   G. 右ブームに取り付けた泡ホースに、図 16 のように青と白のチューブを取り付ける。
   H. 残っているクランプを使って、全部のチューブをバーブに固定する。
3. 最終的な配置状態は 図 17 のようになる。

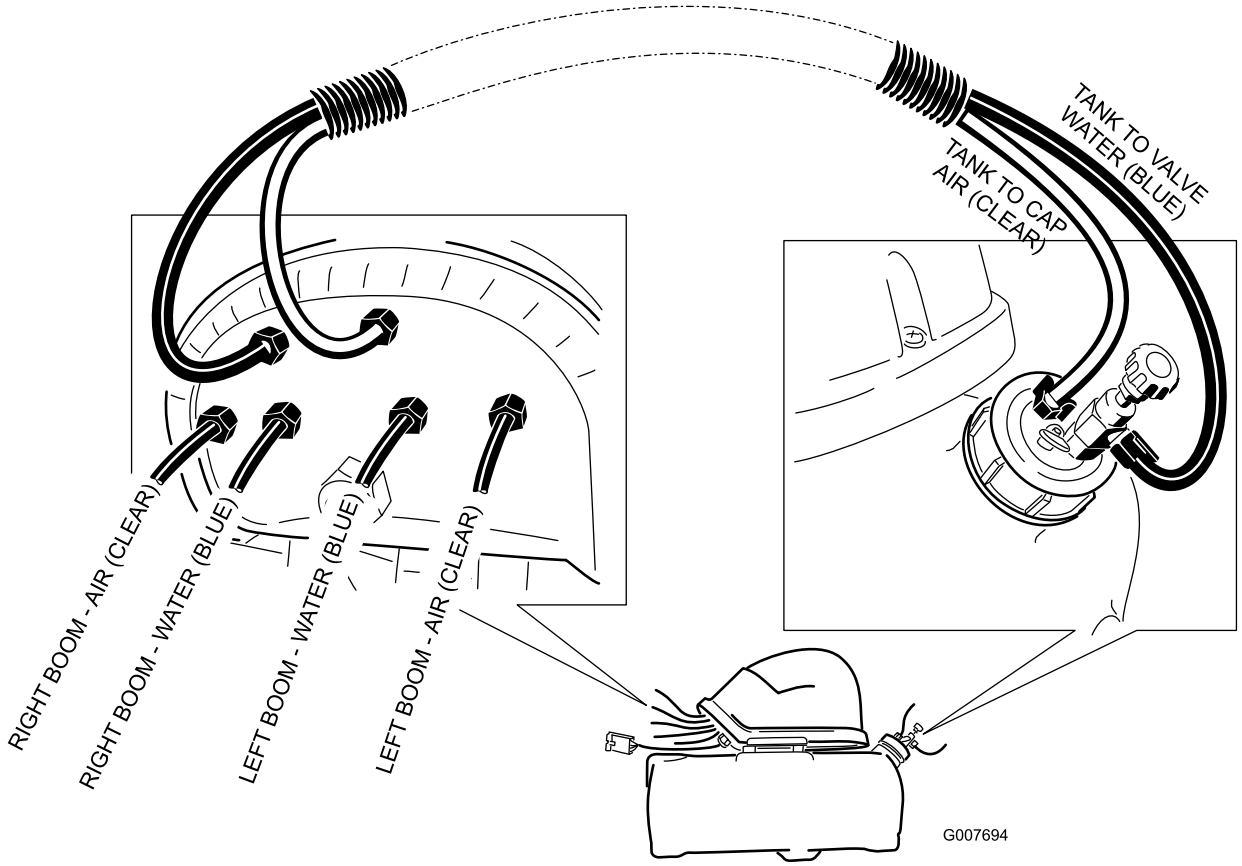

TANK TO VALVE WATER (BLUE)
TANK TO CAP AIR (CLEAR)
RIGHT BOOM - AIR (CLEAR)
RIGHT BOOM - WATER (BLUE)
LEFT BOOM - WATER (BLUE)
LEFT BOOM - AIR (CLEAR)
G007694

図 17

マルチプロ 5000 シリーズ・ターフ・スプレーヤへの泡コントロール・バルブの取り付け

1. 先ほどキャブの前部まで引き入れた泡ホースを探し出す。
2. 露出させた泡チューブに、プラスチック製のチューブ・クランプを取り付ける。

   注 青いチューブ（液用）には青いクランプ、透明チューブ（空気用）には白いクランプを使用します。
3. ダッシュボードについているプラグを打ち抜く（プラグがないモデルでは穴を開ける）。

   5700 の場合：

   A. ダッシュボードの右側から内側に向かって 254 mm およびダッシュ底面から 38 mm の位置に、マークをつける（図 18）。

   注 この位置に打ち抜きプラグがついている場合には、そのプラグを打ち抜いてステップ 4 へ進む。

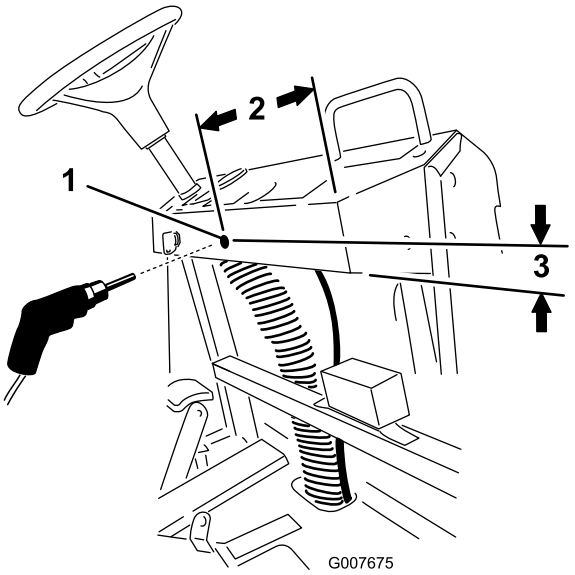


図 18
5700

1. 直径 11 mm の穴をあける
2. 25.4 cm
3. 38 mm

   B. マークを付けた場所に、直径 11 mm の穴を開け、あなの周囲のバリなどを取り除いてきれいにする。

   5800 の場合：

   図 19に示す位置のプラグを打ち抜く。

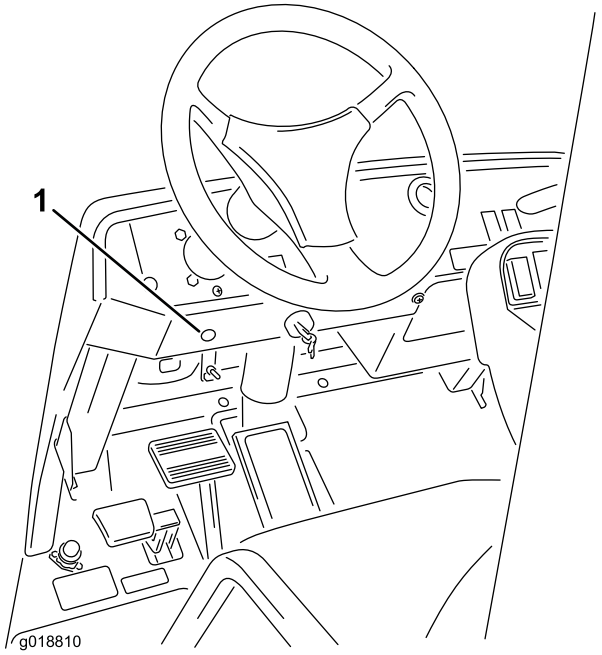


図 19
5800

1. 打ち抜きプラグの位置

4. 付属部品の中から、分解可能なダッシュボード取り付け用制御バルブを探し出す。
5. 図 20 のようにして、ノブ・アセンブリをフィッティングに固定しているナットをゆるめる。

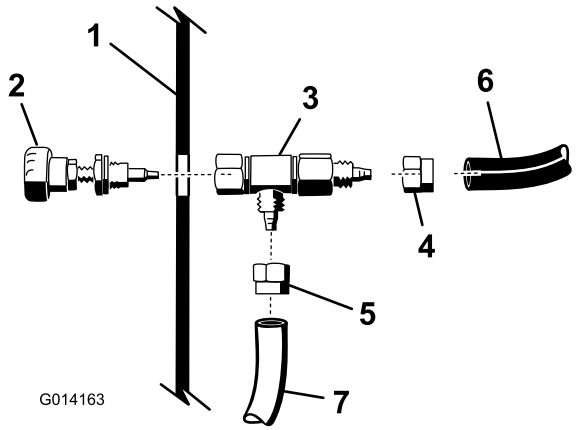


図 20

1. ダッシュボード
2. ノブ, ダッシュボード用制御バルブ
3. ボディ, ダッシュボード用制御バルブ
4. フェルール, 青色チューブ
5. フェルール, 透明チューブ
6. 青色チューブ
7. 透明チューブ

6. 泡ホースからダッシュボード下まできている青色と透明のチューブを、図 20 のように制御バルブに接続する。

注 各チューブをクランプでフィッティングに固定する。

7. ノブ・アセンブリのねじ山に PTFE ねじ山用テープ（テフロン・テープ）を巻きつける。
8. ノブ・アセンブリのねじ山側を、ダッシュボードの穴に通す。
9. ダッシュボードの下側で、ノブ・アセンブリについているナットを締めて制御バルブ・ボディ・アセンブリをノブ・アセンブリに固定する。
10. 図 21 のようにデカルを貼り付ける。

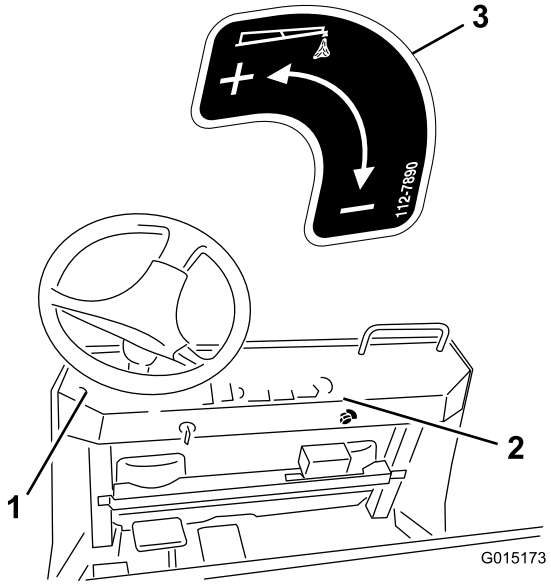


図 21

1. 5800 の場合にはデカルをここに貼り付ける。
2. 5700 の場合にはデカルをここに貼り付ける。
3. デカル 112-7890

マルチプロ 5000 シリーズ・ターフ・スプレーヤへのホースの取り付け

1. フォーム・マーカー・タンク・アセンブリからの電気プラグを、ブラケット部にあるワイヤ・ハーネスの開いているプラグに接続する。
2. 以下に説明する手順で、ブームから来ているフォーム・マーカー・ホースを取り付ける。
   A. 長いホースからダッシュボード下まできている二本のチューブの端部を探し出し、青いチューブを黒いタンク・キャップのバーブに接続する。

      注 透明チューブをコンプレッサの **青色** すなわち液用バーブ（図 22を参照）に接続してください。 青いクランプ（1個）で両方のチューブを固定します。タンク・アセンブリに接続できるように、必要に応じてチューブの外側被覆をさらに剥ぎ取ってください。

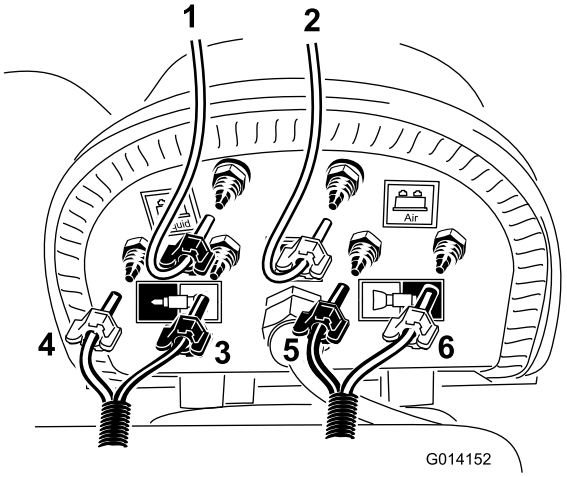


図 22

1. 透明チューブと青色クランプ（ダッシュボード上の制御バルブからの戻りチューブ）
2. 透明チューブと白色クランプ（92 cm ループ・バック・ホースの 1 本だけ使用しているチューブ）
3. 右ブーム, 透明チューブと透明クランプ
4. 右ブーム, 青色チューブと青色クランプ
5. 左ブーム, 青色チューブと青色クランプ
6. 左ブーム, 透明チューブと透明クランプ

   B. 先ほどカットした短い、ループバック・ホースを探し出し、この透明チューブを 図 22 のように、タンク・キャップ（黒）に残っているバーブに接続する。

      注 のこりの開放端部を、コンプレッサの空気バーブ（白色）に接続します。チューブを白色のチューブ・クランプで固定する。

   C. 付属部品の中から青色クランプ 2 個と、白色クランプ 2 個を探し出し、先ほどブームに沿って取り付けた同色のチューブにはめる。
   D. 左ブームに取り付けた泡ホースの青と白のチューブを、図 22 のように取り付ける。
   E. 右ブームに取り付けた泡ホースの青と白のチューブを、図 22 のように取り付ける。
   F. 残っているクランプを使って、全部のチューブをバーブに固定する。
3. 最終的な配置状態は 図 23 のようになる。

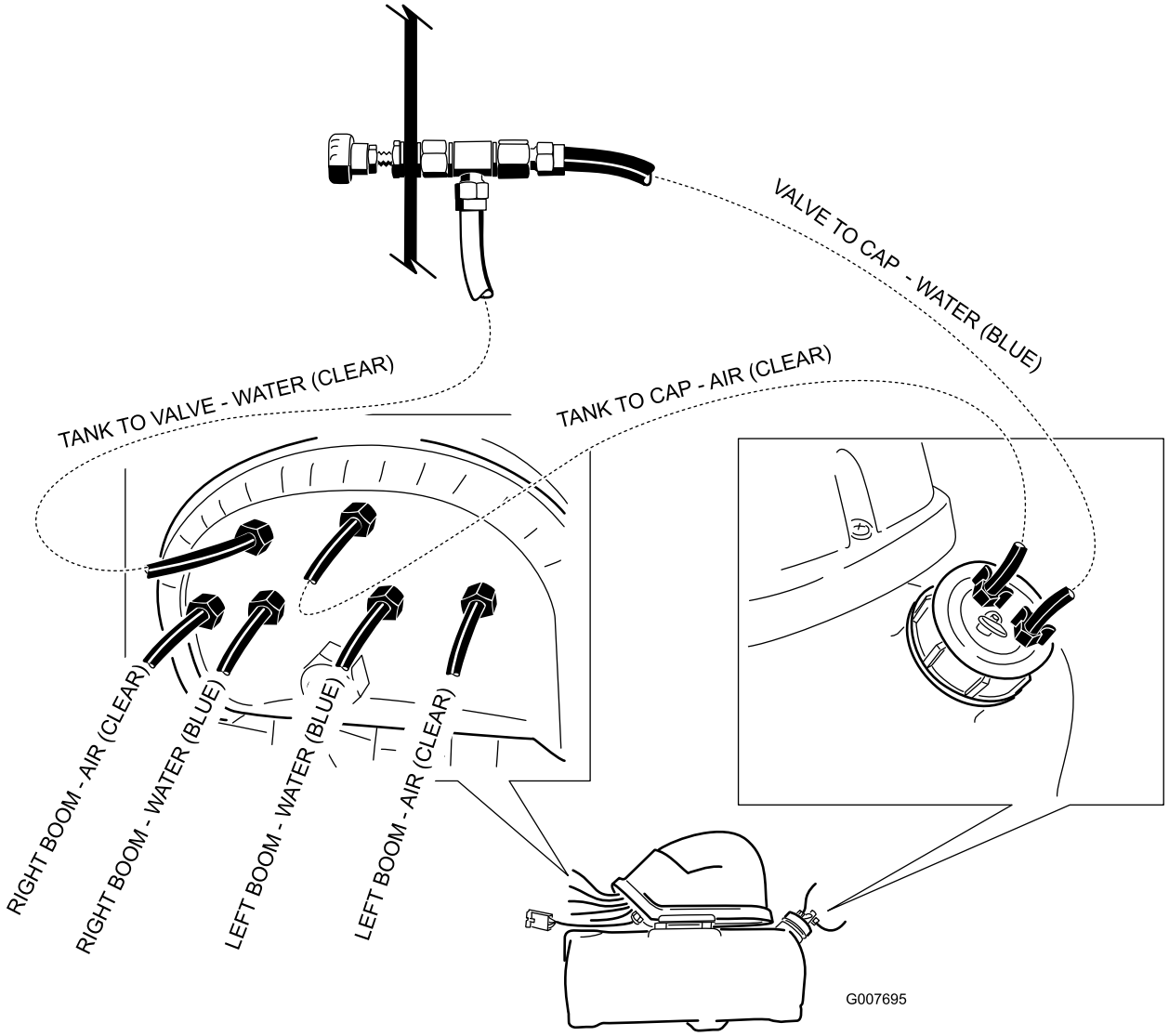


図 23

8

スイッチとヒューズを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	ロッカー･スイッチ
1	ヒューズ（15 A）

マルチプロ 1200 ターフ･スプレーヤ

1. 散布コントロール･パネルを外して底部を露出させる。
2. 車両の散布コントロール･パネルについている打ち抜き栓 2 ヶ所を打ち抜き、キットに付属しているロッカー･スイッチ 2 個を、打ち抜いた穴に取り付ける（1200の場合は 図 24、1250の場合は 図 25 ）。

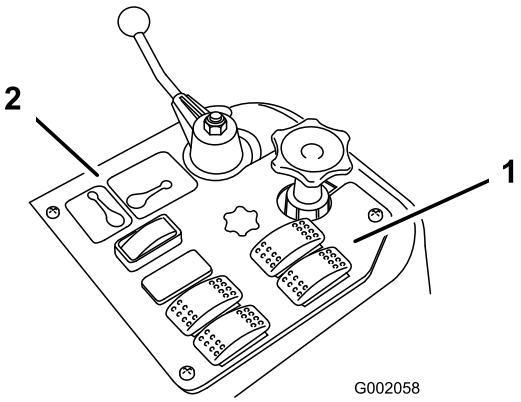


図 24

1200

1. フォーム･マーカー･スイッチ　2. 散布コントロール･パネル

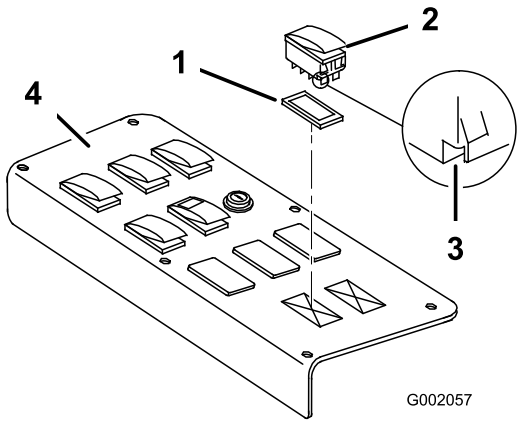


図 25

1250

1. プラグ
2. スイッチ
3. ノッチ(後ろ側)
4. 散布コントロールパネル

3. 右側ソレノイド用というラベルのついたコネクタを右スイッチに接続し、左側ソレノイド用というラベルのついたコネクタを左スイッチに接続する。

   注 スイッチの取り付け方向が、図 25 と一致しているかどうか確認してください（ノッチが車両の後方を向いているのが正しい取り付け方向です）。

4. ヒューズ（15 A）を、車両前部にあるヒューズ・ブロックのヒューズ･スロットに差し込む。

マルチプロ 5700 ターフ･スプレーヤ

1. 中央コンソールについているスロットルのツマミを回し、スロットル･ロッドから外す。
2. ラッチを外して、スイッチ･パネル･アセンブリを中央コンソール･アセンブリから取り外す（図 26）。

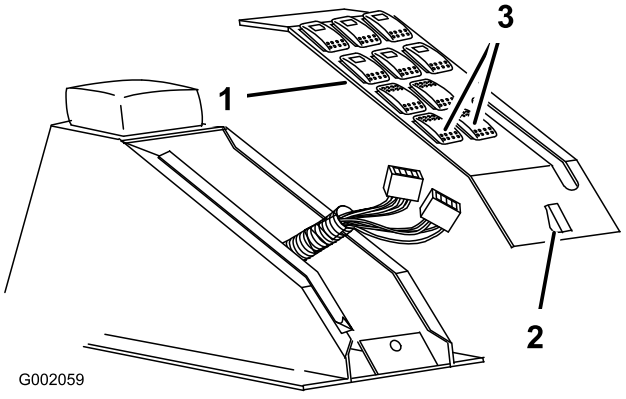


図 26

1. コントロール･パネル
2. ラッチ
3. フォーム･マーカー･スイッチ

3. フォーム･マーカーのスイッチ穴をふさいでいる栓を外す。
4. ロッカー･スイッチ2個をスイッチ･パネルに取り付ける。

   注 各スイッチの底部の切り込み（穴）を車両後部へ向けて取り付けます。

5. 右側ソレノイド用（right foam solenoid）というラベルのついたコネクタを右スイッチに接続し、左側ソレノイド用（left foam solenoid）というラベルのついたコネクタを左スイッチに接続します。
6. スイッチ･パネルを取り付け、ラッチを掛ける。
7. スロットルのツマミをロッドに取り付ける。手で回して締まるところまで締めること。
8. ヒューズ（15 A）を、車両前部にあるヒューズ・ブロックのヒューズ･スロットに差し込む。

マルチプロ 5800 ターフ･スプレーヤ

1. 中央コンソール・アセンブリのフォーム・マーカー・スイッチ用の穴をふさいでいるプラグを（2つ）を打ち抜く（（図 27）。

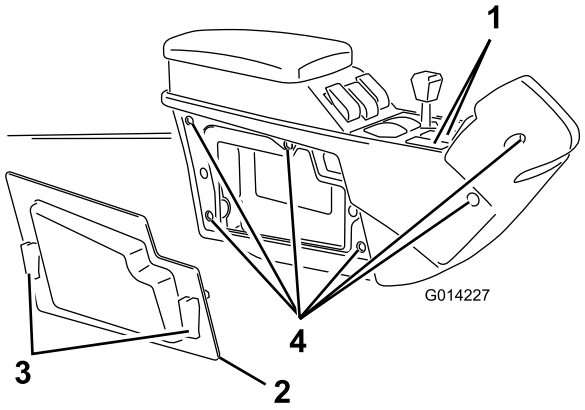


図 27

1. フォーム･マーカー･スイッチのプラグ
2. サイド･パネル
3. クイック･ラッチ
4. ボルト(6本)

2. クイック・ラッチ（2個）を外して、中央コンソール･アセンブリの右側パネルを取り外す（図 27）。
3. ボルト（6本）を外して、中央コンソール･アセンブリの右側カバーを取り外す（図 27）。
4. コネクタ（2個）を、スイッチ取り付け用開口部に導く。

   注 右側ソレノイド用（right foam solenoid）というラベルのついたコネクタを右側開口

部に通し、左側ソレノイド用（left foam solenoid）というラベルのついたコネクタを左側開口部に通します。

5. 右側ソレノイド用というラベルのついたコネクタを右スイッチに接続し、左側ソレノイド用というラベルのついたコネクタを左スイッチに接続する。
6. ロッカー･スイッチ2個をスイッチ･パネルに取り付ける。

   注 各スイッチの底部の切り込み（穴）を車両後部へ向けて取り付けます。
7. 右側カバーをコンソールに取り付ける；ステップ 3 で使用したボルト 6 本を使って固定する。
8. 右側パネルを取り付ける。
9. ヒューズ（15 A）を、車両前部にあるヒューズ・ブロックのヒューズ･スロットに差し込む。

ワークマン200スプレー･システム

1. 前パネルを制御ボックスに固定しているねじ 4 本をゆるめる（図 28）。

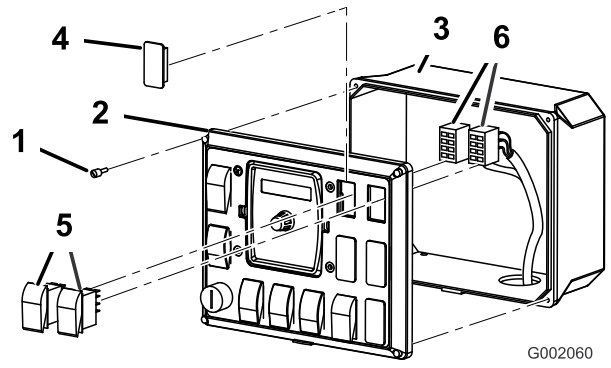


図 28

1. ねじ
2. 前パネル
3. コントロール･ボックス
4. プラグ
5. ロッカー･スイッチ
6. コネクタ

2. 前パネルを外し、コントロール・ボックス内部が見えるようにする（図 28）。
3. 車両の散布コントロール･パネルについている打ち抜き栓2ヶ所を打ち抜き、キットに付属しているロッカー･スイッチ2個を、打ち抜いた穴に取り付ける（図 28）。
4. 右側ソレノイド用（right foam solenoid）というラベルのついたコネクタを右スイッチに接続し、左側ソレノイド用（left foam solenoid）というラベルのついたコネクタを左スイッチに接続します。

   注 スイッチとコネクタの向きが合っていることを確認してください。
5. 前パネルをコントロール・ボックスに取り付け、ゆるめたネジ 4 本を締めて固定する。
6. ヒューズ（15 A）をヒューズ・ブロックの一番上のスロットに差し込む。

   注 ヒューズ・ブロックのワイヤがハーネスの赤/黒色ワイヤにつながっていることを確認してください（図 29）。

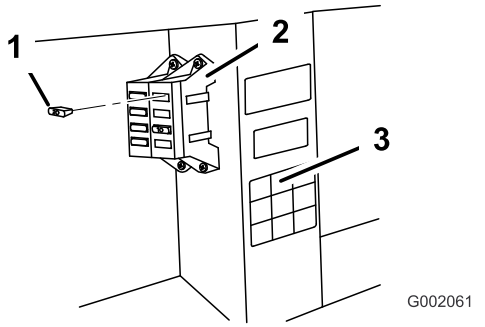


図 29

1. 15 A
2. ヒューズ･ブロック
3. ヒューズ･ボックスのデカル

運転操作

コントロールを使用する

右ブーム・スイッチ： 押すとコンプレッサが作動し、右ブーム部に泡が流れます。

左ブーム・スイッチ： 押すとコンプレッサが作動し、左ブーム部に泡が流れます。

注 泡は両方のブームから同時に落とすことができます。

インジケータ・マーク–タンクの側面にあり、タンク内部の泡生成剤の残量を示します。

泡密度調節バルブ： 泡生成液の濃度を調節します。このバルブの開閉調整によって、泡ノズルに送られる石鹸液の量を調整することができます。石鹸液の量を増やせば、より大きい泡が回数多く出るようになり、石鹸液の量を減らせば、より小さい泡が回数少なく出るようになります。

注 風が強い日には、水分の多い泡にすると飛ばされにくくて便利です。

圧力逃がし（リリーフ）弁： タンク・キャップについている赤いタブを引き出すと、タンク内部の圧力が開放されます。

タンクに発泡剤を入れ、泡密度を調節する

重要 使い終わった後は、真水で内部を洗ってください（特に硬水で使用する場合には、使用後の洗浄を徹底してください）。潤滑油、グリスなど、石油系の製品を、コンプレッサ・モータ・アセンブリに使用しないでください。

1. コンソールのブーム･スイッチが左右ともOFFになっていることを確認する。
2. タンク・キャップについている赤い圧力開放タブを引き出して、タンク内部の圧力を抜く。
3. タンク上部の口から、まず適量の水を入れ、次に発泡剤を入れる（発泡剤の分量は発泡剤メーカーの説明書に従う）。

   重要 水のpH値が極端な場合（硬水/軟水）は、濃縮発泡剤の必要量が変わります。
4. タンクにキャップをはめ、手で締め付ける。
5. とりあえずの設定として、泡密度調節バルブを1/8～1/4回転、開ける（図 30）。

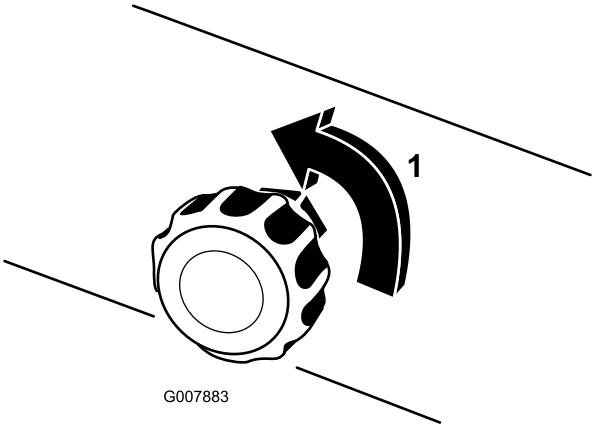


図 30

1. 1/4 回転あける

6. マーキング･システムの操作を開始し、地面でテストする。

   注 泡は最初の1～2分で配管に行き渡る。
7. 泡密度調節バルブで所望の濃度に調節し、ふつうに散布作業を行う。

   注 泡をライン内に2時間以上残したままにすると、泡が水っぽくなることがあります。2時間以上の中断の後で作業を再開するときは、1～2分回して余分な水を抜いてください。

   泡の水気が多すぎる場合は、次の手順を行ってください。

   A. 泡密度調節バルブを完全に閉じる。

   B. 2分間運転する。

   C. 1分待ってから泡の密度を確認する。

   D. 所望の密度になるまで調節する。

保守

冬期保管の準備

1. タンクについている圧力開放弁を使ってタンク内部の圧力を抜く。
2. タンクのキャップから空気チューブと発砲液チューブを外す。
3. チューブ・カップラ（付属部品）を使って、空気チューブと発泡液チューブをつなぐ。
4. 左右それぞれのブームでフォーム・マーカーを 5 分間作動させる。

   注 これにより、バルブ部分に残っている液剤が排出され、凍結による破損の恐れがなくなります。
5. 泡用ノズルを分解して内部のスポンジを交換する。
6. 凍結によるタンクの破損を防止するために、タンク内部を完全に空にし、石鹸液が残っていないようにする。

保管

1. 平らな場所に駐車して駐車ブレーキを掛け、ポンプを止め、エンジンを停止して始動キーを抜き取る。
2. タンク上部の補給キャップを開けて内部の圧力を抜き、その後にキャップを取り付けて手で軽く閉める。
3. タンクから空気チューブと発泡液チューブを外す。

   注 チューブ・カップラ（付属部品）を使って、空気チューブと発泡液チューブをつなぐ。
4. 泡用ノズルを分解して内部のスポンジを交換する。
5. 凍結によるタンクの破損を防止するために、タンク内部を完全に空にし、石鹸液が残っていないようにする。

メモ：



Count on it.